別添資料1

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 6年 3月 1日　　事業所名 COCOLOはうす淡路

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	5		利用者数が増えると狭くなるので、整理整頓等を心掛け、移転も含めて検討している。
	2	職員の配置数は適切である	5	3		稼働数とシフトのバランスを考慮し、適切な配置を心掛けたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1		よりよい環境づくりを心掛けていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8			PDCAを意識的にしていくようにしていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			適時、アンケートやコミュニケーションをとり、改善できる所は改善していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2		公表はしているが、周知不足なところがあるので、周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		本社と協力し、業務改善に努める。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			引き続き研修を行っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			少なくとも半年に一回のモニタリングと、適宜ケース会議等を開き、計画を全体で共有している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		課題として検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		課題として検討していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			課題として検討していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		行っているが、もっと必要であり、現状を考慮し検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8			個別・集団活動を適宜組み合わせたいが、難しい所もあり、検討課題としたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		平日の朝に朝礼をしている。休日等も行えるよう工夫していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		終了後ではなく、次の日の朝している。 業務日報での情報共有
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		記録は書いているが、検証・改善につながるよう意識していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	1		ガイドラインを意識するよう心掛ける。

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1		現状、どうしても管理者が対応してしまいがちだが、育成もかねて適任者が参画できるよう検討していく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	1		行っているが、もっと必要であり、学校との関係性を築けるようこまめに情報共有をしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	3		主治医等との連携をとれるよう保護者との話し合いをしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		連携にむけ、より関係性を強めたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2		保護者との連携も含め連携を深めていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2		交流はあるが、助言や研修を受けられるよう検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4		公園で偶発的に交流する等はあるが、今後そのような機会を増やしていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	4		参加していけるよう努力する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1		日々コミュニケーションに努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	6	2		研修等に参加し、本事業所でも取り入れていけるよう体制を整えていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		スタッフ間での周知が十分ではない為、研修等で周知していきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			お話は聞くことがあるが、より適切な助言や支援をしていけるよう、研修を重ねていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	4		今後の検討課題としてとらえていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1		迅速な対応を心掛けていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	SNS等で発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4		今後の検討課題としてとらえていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			